

2021年10月29日 全7頁

Indicators Update

2021年9月鉱工業生産

自動車工業の減産幅が拡大し7-9月期の生産は前期比マイナスに

経済調査部 エコノミスト 岸川 和馬

[要約]

- 2021年9月の生産指数は前月比▲5.4%と3カ月連続で低下し、市場予想(同▲2.7%)を下回った。とりわけ自動車工業が大幅減産となり、生産指数を同3.7%pt押し下げた。これを受けて2021年7-9月期の生産指数は前期比▲3.7%と、コロナ禍が直撃した2020年4-6月期以来の低下となった。経済産業省は基調判断を「足踏みをしている」に据え置いた。
- 先行きの生産指数は緩やかに上昇するとみている。主力の自動車工業は既に最悪期を脱したとみられるが、依然として世界的な半導体不足がボトルネックとなっており、自動車生産の正常化までには時間がかかるだろう。他方、年末から年明けにかけては供給制約の緩和によって生産指数全体の回復ペースも加速するだろう。製造工業生産予測調査によると、10月は前月比+6.4%(計画のバイアスを補正した試算値(最頻値)は同+2.4%)、11月は同+5.7%と見込まれている。
- 11月8日公表予定の9月分の景気動向指数は、先行CIが前月差▲2.7ptの98.6、一致CIが同▲3.8ptの87.5と予想する。この予測値に基づくと、一致CIによる基調判断は機械的に「足踏み」に下方修正される。

図表1：鉱工業指数の概況(季節調整済み前月比、%)

	2021年									
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
鉱工業生産	▲1.3	+1.7	+2.9	▲6.5	+6.5	▲1.5	▲3.6	▲5.4		
コンセンサス								▲2.7		
DIR予想								▲3.2		
生産予測調査									+6.4	+5.7
補正值(最頻値)									+2.4	
出荷	▲1.3	+0.4	+3.1	▲5.5	+4.8	▲0.3	▲4.4	▲6.2		
在庫	▲0.7	+0.4	▲0.1	▲1.1	+2.1	▲0.7	▲0.1	+3.7		
在庫率	+1.0	+0.2	▲2.4	+1.3	▲0.3	+1.0	+3.7	+5.9		

(注) コンセンサスはBloomberg。

(出所) Bloomberg、経済産業省統計より大和総研作成

【生産】自動車工業における供給制約の影響がより鮮明に

2021年9月の生産指数は前月比▲5.4%と3カ月連続で低下し、市場予想（同▲2.7%、Bloomberg調査）を下回った。自動車工業が全体を同3.7%pt押し下げており、半導体不足や、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた東南アジアでのロックダウン（都市封鎖）の影響が一層鮮明に表れた。2021年7-9月期の生産指数は前期比▲3.7%と、国内外で厳しい感染拡大防止策が実施され、工場での稼働が停滞した2020年4-6月期以来のマイナスとなった。経済産業省は基調判断を「足踏みをしている」に据え置いた。

生産指数を業種別に見ると、15業種中11業種が前月から低下、4業種が上昇となった。自動車工業（前月比▲28.2%）の低下幅が大幅なマイナスとなった前月（同▲15.2%）からさらに拡大し、全体を押し下げた。世界的な半導体不足に加え、部品工場が集中するベトナムの工業地帯で7月上旬から実施されたロックダウンなどを背景に普通乗用車などが減少した。普通乗用車の生産指数は2020年6月並みの水準まで低下している。また汎用・業務用機械工業（同▲5.7%）ではコンベヤのほか、自動車の減産を受けて乗用車エアコン用圧縮機などが減少した。

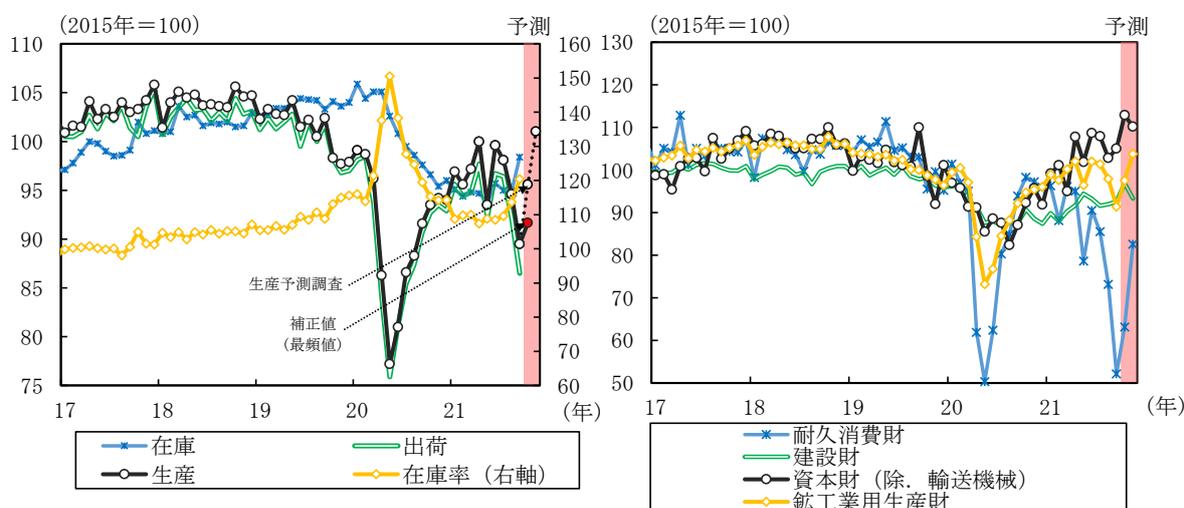
財別では、生産財（前月比▲6.2%）や耐久消費財（同▲28.7%）が低下した一方、資本財（除. 輸送機械）（同+2.1%）や建設財（同+0.7%）などは上昇した。

【出荷・在庫】自動車工業での減産を背景に在庫減が継続

9月の出荷指数は前月比▲6.2%と3カ月連続で低下した。業種別では、自動車工業や電気・情報通信機械工業を中心に15業種中11業種が低下した。財別では、生産財や耐久消費財、資本財（除. 輸送機械）が低下した一方、建設財などは上昇した。

在庫指数は前月比+3.7%と3カ月ぶりに上昇した。電気・情報通信機械工業や鉄鋼・非鉄金属工業が全体を押し上げたほか、自動車工業が上昇に転じた。また在庫率指数は同+5.9%と3カ月連続で上昇した。

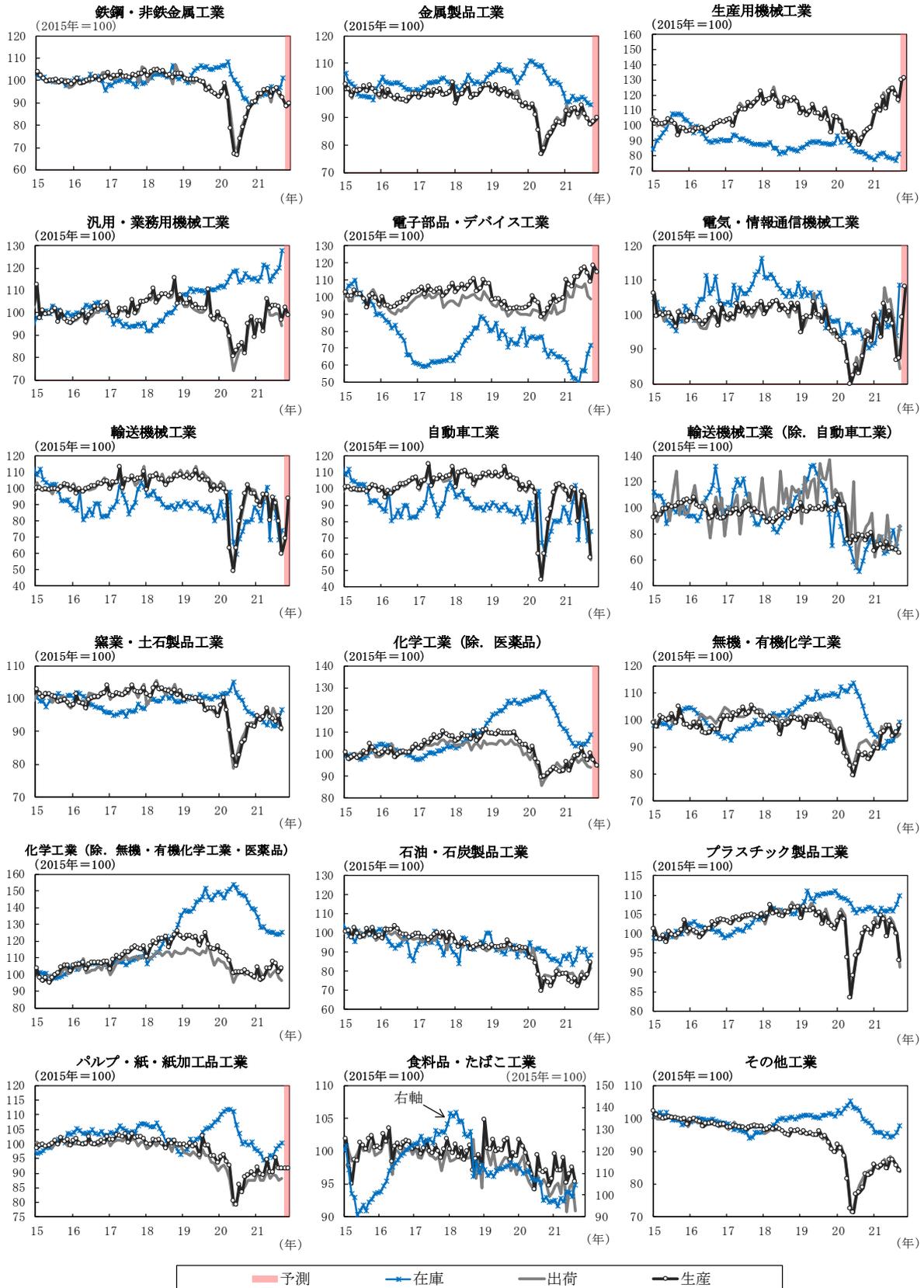
図表2：鉱工業の生産・出荷・在庫（左）と財別の生産（右）



(注) 生産指数の予測値（赤色）は、製造工業生産予測指数の補正值（最頻値）。そのほかシャドー部分の値は、製造工業生産予測調査による。

(出所) 内閣府、経済産業省統計より大和総研作成

図表3：業種別 生産・出荷・在庫の推移



(注1) 生産指数の予測値は、製造工業生産予測調査。化学工業(除.医薬品)の予測数値は、化学工業全体の予測数値を使用。

(注2) 食料品・たばこ工業は速報では公表されないため直近値は前月の確報値。

(出所) 経済産業省統計より大和総研作成

【先行き】自動車生産が最悪期を脱し生産指数は徐々に回復へ

先行きの生産指数は緩やかに上昇するとみている。自動車部品工場が集中する東南アジアではロックダウンの解除が進んでおり、供給制約を受けてこのところ下押し要因となっていた自動車工業は10月に最悪期を脱したとみられる。ただし依然として世界的な半導体不足がボトルネックとなっており、自動車生産の正常化までに時間がかかる可能性には留意が必要だ。他方、トヨタ自動車は11月の世界生産台数が過去最高水準、翌12月、1月も高水準となる見通しを示している。供給制約の緩和によって主力の自動車生産が正常化へ向かうことで、年末から年明けにかけて生産指数全体の回復ペースも加速するだろう。なお報道によると、2021年度の国内の大手自動車メーカー8社による減産台数は少なくとも計130万台と、前年度の生産台数全体の5%強に上る¹。減産分の一部は今後挽回生産に回るとみられ、生産指数を押し上げる要因となるだろう。

製造工業生産予測調査によると、10月は前月比+6.4%（計画のバイアスを補正した試算値（最頻値）は同+2.4%）と、4カ月ぶりの増産が見込まれている。業種別では輸送機械工業（同+17.9%）における挽回生産が計画されているほか、生産用機械工業（同+9.4%）など11業種中7業種が増産の計画である。他方、化学工業（同▲1.7%）などでは9月からの反動減が見込まれている。

11月は、前月比+5.7%となる見通しとなっている。供給制約の解消が進む中で輸送機械工業（同+35.0%）の回復ペースの加速が見込まれているほか、電気・情報通信機械工業（同+8.8%）や生産用機械工業（同+1.3%）も増産が続く見込みだ。

¹ 「[国内大手8社の車減産130万台に、半導体不足や東南アジアでの感染拡大の影響続く](#)」読売新聞（2021年10月23日）

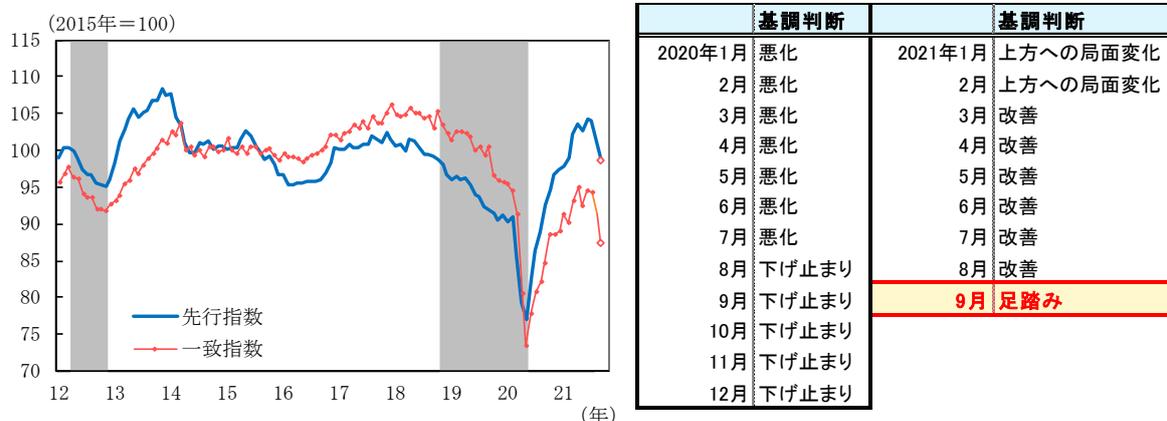
【9月景気動向指数】一致CIの悪化により基調判断は「足踏み」に下方修正か

鉱工業指数の結果を受け、11月8日公表予定の9月分の景気動向指数は先行CIが前月差▲2.7ptの98.6、一致CIが同▲3.8ptの87.5と予想する(図表4)。先行CIでは構成指標のうち、中小企業売上げ見通しDIや最終需要財在庫率指数、鉱工業用生産財在庫率指数などが悪化した。他方、一致CIでは構成指標のうち、耐久消費財出荷指数や輸出数量指数などが悪化した。この予測値に基づくと、一致CIによる基調判断は機械的に「足踏み」に下方修正される。

景気はこのところ改善基調が鈍化しているが、10-12月期からは個人消費を中心に回復ペースが加速するとみている。10月はおよそ半年ぶりに緊急事態宣言もまん延防止等重点措置も発出・適用されていない状態となった。加えてワクチン接種も順調に進んでおり、諸外国の例に照らせば日本でもサービス消費を中心とした回復が見込めよう。また輸出や生産はこのところ供給制約を背景に足踏み状態となっているものの、今後は供給制約が解消し、海外経済の回復に沿う形で緩やかな改善基調を辿るとみている。

他方、足元では資源高の進行が続いている²。調達コストが増大する一方で国内では消費財への価格転嫁が進んでおらず、資源高の影響の大部分を企業部門が吸収している格好だ。さらなる資源高の進行によって企業が生産を手控え、景気回復に冷や水を浴びせる可能性には注意が必要だ。

図表4：景気動向指数（先行CI、一致CI）と基調判断の推移



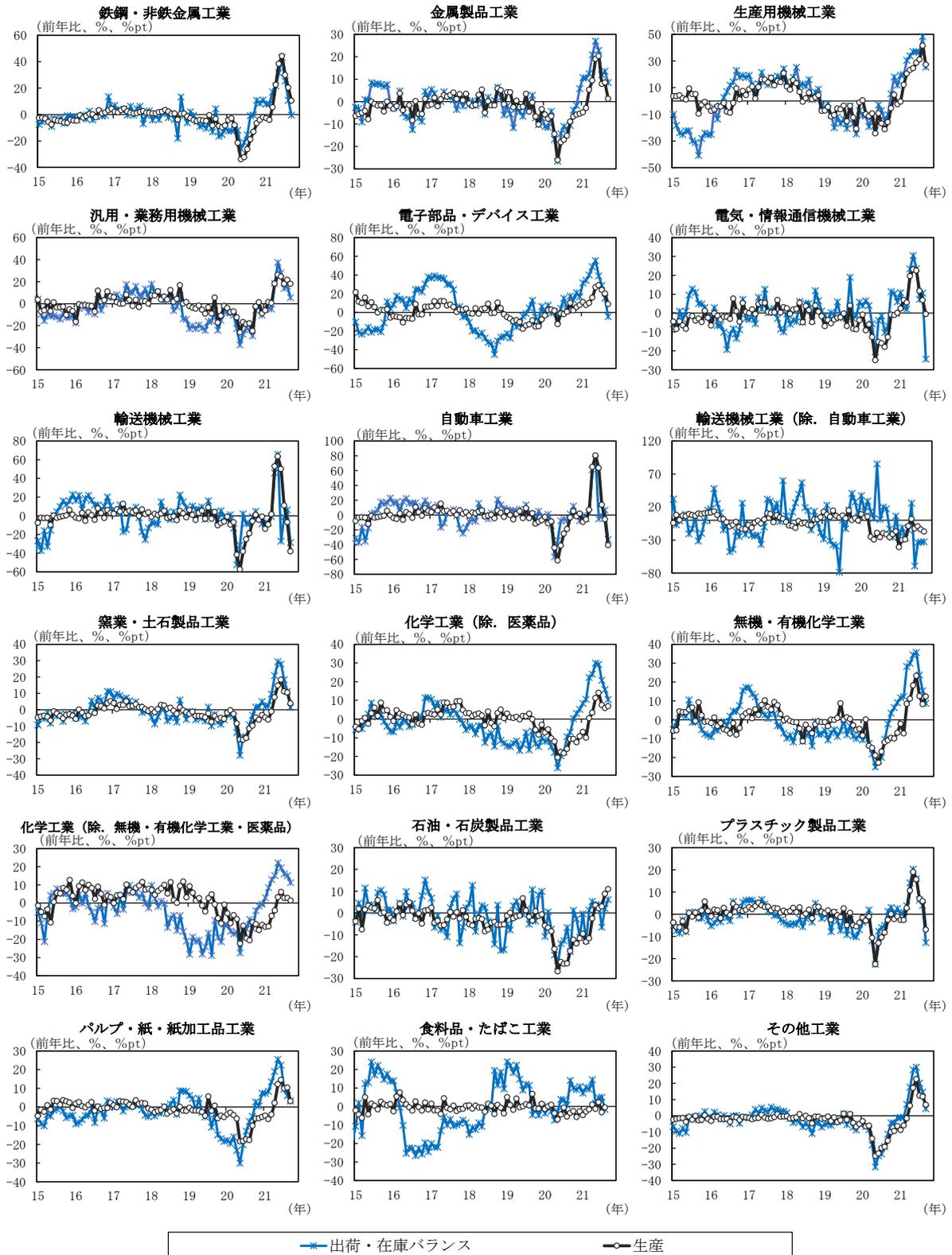
(注1) 左図の直近は大和総研による予測値。右図の2021年9月の基調判断は大和総研予想。

(注2) シェードは景気後退期(直近は暫定)。直近の景気の谷は大和総研による判断に基づく。

(出所) 内閣府統計より大和総研作成

² 資源高による経済への影響については、神田慶司ほか「[日本経済見通し：2021年10月](#)」(大和総研レポート、2021年10月20日)を参照。

業種別 出荷・在庫バランスと生産



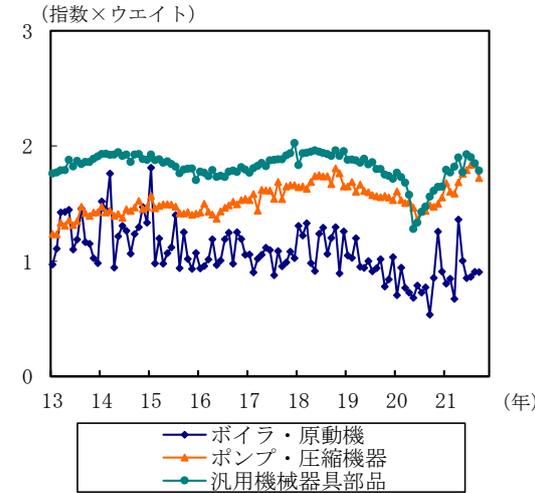
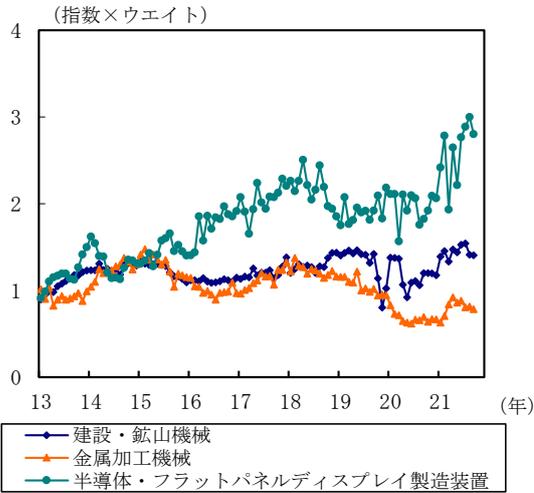
(注1) 出荷・在庫バランス＝出荷前年比－在庫前年比。

(注2) 食料品・たばこ工業は速報では公表されないため直近値は前月の確報値。

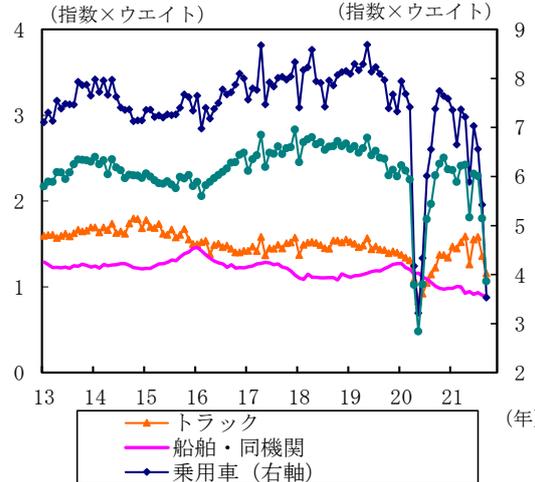
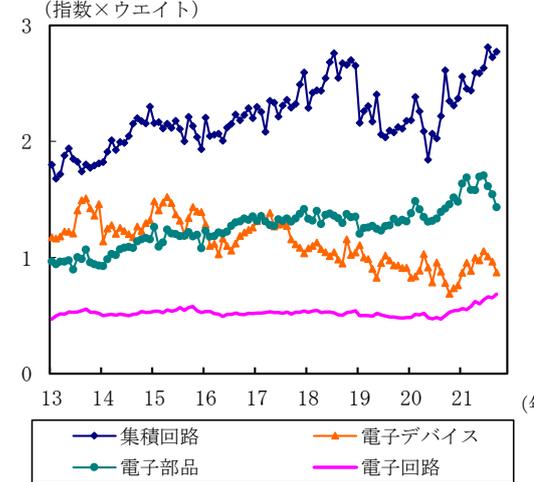
(出所) 経済産業省統計より大和総研作成

主要産業の生産動向 (季節調整値)

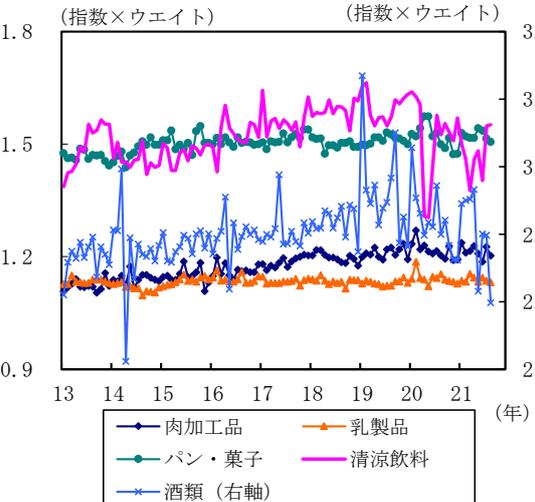
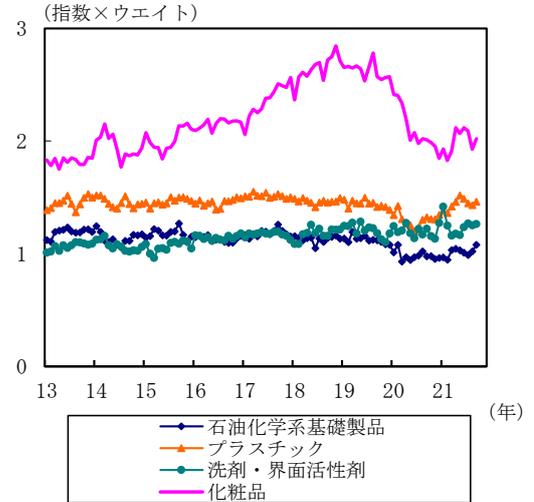
生産用機械 汎用・業務用機械



電子部品・デバイス 輸送機械



化学 食料品・たばこ工業



(注) 食料品・たばこ工業は速報では公表されないため、直近値は前月の確報値。
 (出所) 経済産業省統計より大和総研作成